

◇ 新刊紹介

今昔・福井県政界夜話 杉本伊佐美著・発行
昭和六十三年六月 B 6判 二五四頁 定価
三、五〇〇円

書名が示すとおり、明治期以降の福井県下政界のいわば「表と裏」の虚々実々の動きと政界の著名人につき、その赤裸々な人間像をさまざまな角度から照明を当てて、きわめて興味ぶかくかつリアルなタッチで記したものである。実は著者が長年にわたる新聞記者時代に、とりわけ各種選挙の報道に力こぶを入れ、県議会での質疑応答にいたるまで丹念に筆録するという熱の入れようであったという。こうして蓄積された貴重なデータにもとづき、著者が編集したFBCテレビ発行の雑誌「月間FBC」はじめローカル誌や各種新聞・雑誌等に掲載したもののうちから、適宜注目をひく記述を選んで一本にまとめたわけであ

る。「あれこれ選挙演説の話」はじめ八〇数篇の多数にのぼるが、昭和戦前期では、特に衆議院議員総選挙や県会議員選挙にかかわるものが目立っている。また戦後期では、たとえば表向きは堂々公明選挙を旗印としながら、それにしばしば逆行する選挙の実態にまで鋭いメスを入れるという取材ぶりは、当時敏腕記者の雄名をひびかせた著者にしてはじめて本書が公刊されたともいえる力作で、ぜひ一読をおすすめしたい。

(三上一夫記)